

GUNMA  
HOUSING  
AWARD  
2019

特別賞

住宅金融支援機構賞

# 土間と薪ストーブのある家

〈 どもとまきすと一ふのあるいえ 〉

設計者 株式会社 関工務所

施工者 株式会社 関工務所



## CONCEPT

### 設計主旨

リビングに隣接して開放感のある土間スペースがご要望の建主様。  
ご主人お気に入りのLDKのアクセントにもなる薪ストーブ。  
リビングに隣接する土間スペースに開放的な大開口窓。  
LDKの通風・視線に考慮した北側の中庭と上部の開閉できる通風窓。  
玄関からLDKはもちろん水廻りにもアクセスできる動線計画。  
LDKの空間をより広く見せる勾配天井。  
デザインも考慮しながら、生活のしやすい動線計画をも叶えた  
「土間と薪ストーブのある家」が完成した。

平面図



## REVIEW

### 講評

緑豊かな景色の広がりのあるロケーションのなかで、周りの雰囲気にも馴染みながらも個性をだした落ち着いた外観となっています。大開口窓を配した土間スペースとの一体感をもった外の自然との繋がりを醸し出す開放感のあるリビングは、ご主人様こだわりの薪ストーブの配置、天井に県産材を張り詰めることでの「優しさ」の演出とともに「寛げる空間」を創り出しています。土間スペースにはベットも喜んでいるとのことですね。

玄関・土間・シュークロークの繋がり、水廻りの動線を簡潔にまとめることで、生活動線にも配慮されたプランニングになっています。窓のレイアウトの工夫による夏の暑さ対策等を踏まえた省エネ対応、長期優良住宅の認定取得など、環境への配慮、自然との共生を意識された住まいづくりをされていると感じます。

お施主様と設計者がとことん話し合わせ、お施主様の「想い」の実現に向けた設計者の工夫によって、お施主様の「想い」が随所に鑿められ、家族とともに成長していく素敵なお住まいを実現されています。

